

さくら

題字 足立区長 近藤 やよい

足立区民生・児童委員協議会だより

発行

足立区民生・児童委員協議会
会長 宮崎 十三
編集 広報委員会
発行日 2015年7月1日
〒120-8510
足立区中央本町1-17-1
TEL 03-3880-5870



花畑第一小 松下慎之介 作

目次

民生・児童委員 PR 週間	2
さくら感謝状贈呈式	3
こころの健康フェスティバル	4
コーラス部コンサート	5
子育て応援団	6
佐野地区 PR 活動	7
中田特別顧問叙勲祝賀会	8
編集後記	



「つながるひろば」

PR 実行委員会特別相談役
山本 祥一

5月12日の民生・児童委員の日にちなみ、毎年5月の1週間、足立区の民生・児童委員全員が区役所を会場として、普段の活動を紹介するためのパネル展示や相談コーナーを設置するようになって4年目になりました。

今年は「つながるひろば」をテーマに、東日本大震災復興の応援として福島県相馬市特産品や区内の福祉作業所が製作したお菓子や雑貨などの販売などを行い、多くの方々にご来場頂きました。そして開催中私が嬉しいと感じたのは、町会自治会の掲示板にPR用のポスターを掲示して頂いたことです。改めて多くの方々が会場とつながって開催できていることを知りました。ありがとうございました。



「民生・児童委員 PR 週間」を終えて

PR 実行委員長 堀口 勝廣

PR 週間行事は全国民生委員児童委員連合会で「民生・児童委員が活動し易い環境整備のための行事」と位置付けられています。当会ではその意義を理解し「1週間開催」「被災地応援」などの方針を定めています。実行委員会では、宮崎連合会長・中田特別顧問の指導の下、行政・社協の協力を得て、昨年の秋より組織一丸となって準備を進めてきました。今年度の相談コーナーでは新たに生活支援課のバックアップを頂き、幅広い相談に対応できました。

24日のボランティアまつりでの当会ブース来場者を含めると、1週間の来場者は約9千名を数えました。

本年度の内容を総括し次年度に活かしていきたいと考えております。最後に、ご指導ご協力頂きました皆様に感謝申し上げます。



特集

民生・児童委員 PR 週間 (5月18日~24日)

23日 メインイベント

(広報委員会 記)

式典

庁舎ホールにてメインイベントの式典が行われました。東島根中学校の吹奏楽部によるオープニングイベントの後、主催者を代表して宮崎連合会長より日頃のご協力に感謝する挨拶がありました。続いて来賓を代表して近藤区長のご挨拶では、超高齢社会の中で困難化する相談に行政が民生・児童委員と協力して前向きに取り組んでいくこと、子どもの貧困対策元年として妊婦への保健師による相談や中学校へのスクールソーシャルワーカーの配置に取り組み始めたというお話を頂きました。

続いて、PR 週間事業に毎年貢献頂いている足立消防署への感謝の気持ちを込め、鈴木前足立消防署長へ連合会長から感謝状を贈呈しました。

さくら感謝状贈呈後は、各部会・委員会の報告が行われ、5部会、2委員会に加え昨年発足したコーラス部の各代表が1年間の活動報告を行いました。

最後に「サニーサイドゴスペルクラブ北千住」による素晴らしいゴスペル披露を頂きました。



▲感謝状を受けて挨拶される鈴木前足立消防署長

消防コーナー

今年も足立消防署の協力を得て、消防コーナーでは恒例の赤パイの展示に加え、ミニ救急車・ミニ消防車・ミニ赤パイの乗車、AED 講習会も行いました。

消防団員を兼務している民生委員も応援に駆け付けました。集まった子ども達がミニ消防服を着て消防車に乗ったり、ご両親も写真を撮ったりと大人気のコーナーでした。今日体験してくれたお友達が、大きくなったら消防団員になってくれたらいいですね！



キッズコーナー

主任児童委員や民生委員 OB の方、「足立シニアクラブ」のボランティアの方々が様々な遊びを教えるコーナーでは、親子連れで大変な賑わいでした。



▲木の自動車づくりに夢中です

17日 民生・児童委員活動普及啓発パレード

東京都民生児童委員連合会主催のパレードが新宿通りで行われました。今年のテーマは「虐待、貧困から子どもを守るおせっかい」です。東京都民生児童委員連合会は、都が行っている「東京 OSEKKAI 化計画」にも協力しています。

パレードは、青山学院大学学友会吹奏楽バトンワリング部の先導で、都内各地区から集まった1,400名の委員が色とりどりのベストやジャンパー・法被姿でにこやかに手を振って大通りを行進します。足立区からも25名が参加しました。ミンジーや警視庁のピーポ君、各地区の社会福祉協議会からマスコットキャラクターも加わってパレードの雰囲気をより盛り上げてい

ました。

一人でも多くの子ども達に本当の笑顔を届けたい！私たちの願いです。



今年で第4回を迎えた、足立区民生・児童委員協議会による「民生・児童委員 PR 週間事業」。今年度は、5月17日に都民連パレードへ参加、18日～22日は区役所区民ロビーでパネル展や相談コーナーを行い、23日にメインイベントを開催しました。24日には足立区ボランティア連合会主催「ボランティアまつり」にも出展しました。1週間で約9千人の方が来場してくださいました。



東島根中学校吹奏楽部演奏



式典のオープニングイベントとして「鳥たちの歌を聴きにいこう（東日本大震災復興応援曲）」を始め、新旧、硬軟取り混ぜた4曲を演奏していただきました。素晴らしい演奏で会場の皆さんに感動を与え、盛大な拍手が起こりました。

音楽ボランティア 「サニーサイド ゴスペルクラブ 北千住」



相馬市特産品・福祉作業所販売

今年も福島野菜や相馬市の特産品、福祉作業所のパン・クッキー・手作り品が販売され、心待ちになさっていた方々が両手いっぱいの品を買い求めていました。

物販によって、忘れてはならない復興支援の継続、作業所の方々との交流を大切にしていきたいと願っています。



さくら 感謝状贈呈式

当紙「さくら」に絵画・詩歌を掲載させて頂いた小中学生へ感謝状を贈呈しました。9名の小中学生にご参加頂き、お忙しい中、区長にも贈呈者としてご列席頂きました。

今回初めて贈呈前に作品を舞台上のスクリーンに映し出しました。客席からは笑顔や感嘆の声。和やかな雰囲気になりました。感嘆の声は、中学生と言いながら「敬老の日 ふたりの散策 寄りそいて」や「友と会う 冷たいビール 一気飲み」といった作品に寄せられました。

第四中学校夜間学級には、様々な理由で中学校を卒業できなかった10代から80代までの方がいます。

「こんなに立派な贈呈式、とても良い思い出になりました」との会話を耳にして、とてもありがたい気持ちになりました。



相談コーナー

相談コーナーは1週間で23件の相談を受けました。今年度新たに設置された生活支援課の職員も相談の応援に入ってください、お困りごとを伺いました。

PR実行委員の皆さん

(敬称略)

連合会長 宮崎 十三
 実行委員長 堀口 勝廣
 特別相談役 山本 祥一
 副実行委員長 市村 智・小金井 堅治
 アドバイザー 根木島 大雄



寺崎 哲夫・宮田 房子・小林 尚子・高橋 淑子・
 張元 陽子・吉村 清江・金子 正邦・村越 清子・
 内藤 久子・溝呂木 節江・渡邊 敏章・佐々木 政子
 森 葉子・山崎 道子・青木 てる子・阿出川 孝行
 齊藤 教子・小野 早苗・北川 富美子・齋藤 佐千子
 山下 節子・宮澤 博子・澁谷 睦子・千葉 祐子
 高橋 絹江・首藤 広行・坂井 潤子



2/24 平成26年度 各種表彰受賞者祝賀会

表彰 おめでとうございます

平成26年度に民生・児童委員として表彰を受けた37名(受賞者は前号に掲載)を祝う会が東京マリアージュにて開催されました。多くのご来賓を含め240名余の方々が出席されました。表彰された皆様に心よりお祝い申し上げます。

「例年行われるこの祝賀会、以前は合同会長を中心に小規模で行って



▲協議会旗の披露

いました。その後、より多くの方々と共にお祝いする運びとなり、近年のような盛会となりました」と宮崎連合会長の挨拶に始まり、来賓の近藤区長、せぬ

ま区議会議長、芳須都民連副会長にご祝辞をいただきました。区長は祝辞に加え「子どもの貧困の連鎖」について「子どもは親を選べない。早め早めの対策が必要であり、生の声を聴き情報を把握し、行政に繋げていただきたい」と述べられました。続いて受賞者と区長との記念撮影が各賞ごとに行われました。

その後、足立区育英資金への寄付、民生・児童委員OBバッジの贈呈、中田特別顧問・宮崎連合会長より寄贈された協議会旗が披露されました。そして歓談へと進み、音楽支援NPO法人アンダンテ・ジャパンの方々の素晴らしい歌と演奏があり、和やかな内に閉会となりました。



▲OBバッジ

(13地区 坂井潤子 記)

3/7 こころの健康フェスティバル

小雨模様の寒い一日、区役所にてこころの病に対する区民の理解を深め、精神障がい者の社会参加の促進を図ることを目的に『第19回こころの健康フェスティバル』が開催されました。heart to heart～未来へつなぐ心と心～をテーマに、主催者開会の挨拶に続き、区立六月中学校吹奏楽部演奏(26年度東京都中学校吹奏楽コンクールA組銀賞)では大きな拍手が寄せられました。講師に平野啓一郎氏(芥川賞受賞作家)を迎え『人にはいろいろな顔があっていい～自分を見失わない生き方～』はすばらしい講演でした。

1階のアトリウムでは、参加団体による自主製品・手工芸等の販売や、模擬店ではコーヒー・豚汁・焼きそば等、多数の出店に行列ができていました。足立区民生・

児童委員協議会主催の恒例のバザーの売上と募金、総額637,700円は、社会福祉協議会を通して精神障がい者団体に寄付されました。

民生・児童委員の団結と行動力と上手な接客に驚かされ、皆の顔がほころび、満足そうな笑顔が目に入りました。皆様お疲れ様でした。



(湖江地区 戸張光子 記)

4/18 足立区社協60周年 記念式典



春の暖かな陽射しが差し込んだ4月18日、足立区役所庁舎ホールで足立区社会福祉協議会の設立60周年記念式典が開催されました。来賓の太田国土交通大臣を始め、国会、都議会、区議会、行政関係者、区内外で地域福祉に携わる機関、団体の代表者など実に350名近くが式典に参加。オープニングでは、この日お披露目となる足立区民生・児童委員協議会コーラス部「葦立コール絆」の爽やかな歌声が花を添えました。

開会宣言、主催者挨拶に引き続き、来賓の挨拶で

は、少子高齢化等の課題を背景に、地域福祉の重要性と、社協へ期待する声が多く寄せられました。

挨拶に続き、表彰状・感謝状の贈呈、写真撮影が行われ、近藤区長の記念講演終了後、盛大な拍手の中お開きとなりました。振り返ると昭和30年3月、足立区社協の設立に深く関わったのが足立区民生・児童委員協議会です。あれから60年の時を経て、共に地域福祉に取り組み続けてきた歴史を改めて感じた一日でした。



(広報委員会 秋本雅信 記)



「絆づくり」シリーズ6 「孤立ゼロプロジェクト」—中間報告—

お互いさまのまちづくり ～孤立ゼロプロジェクト推進中～

平成25年1月にスタートした孤立ゼロプロジェクト。27年5月末現在、調査にご協力いただいている町会・自治会は286団体（全体の65%）、調査終了後の見守りや声かけをお願いする「絆のあんしん協力員」が930名に増えました。また、これらの活動の結果、新たに568世帯を何らかの支援につなげることができました。

試行錯誤しながら進めてきたプロジェクトですが、調査を終了した町会・自治会では、集会所を利用してサロン活動を開始していただいたり、町会内に新たに

「地域見守り隊」が組織されたりなど様々な活動の輪が広がっています。

27年度は調査実施町会・自治会400団体到達を目指して取り組むとともに、「絆のあんしんネットワーク」をさらに拡充し、繋がりをより強固にしていきたいと考えています。これからも民生・児童委員の皆様、「さくら」をご覧いただいている多くの皆様のご支援、ご協力をよろしくお願い申し上げます。

（絆づくり担当課長 上遠野葉子 記）

調査・訪問をするときのコツ

2月26日「調査の機会の活かし方～後輩委員に伝えるノウハウ」をテーマに東京都民生児童委員連合会主催の現任研修を受講しました。

民生委員法14条には、その職務として「住民の生活状態を必要に応じ適切に把握しておくこと」が第一に挙げられています。調査活動は民生・児童委員の神髄といえるものであり、方面委員の時代から根幹をなす活動として重視されてきました。（資料より引用）

今回の研修では調査の機会を有効に活かすための工夫を出し合い、後輩委員に伝えていけるように整理しました。

1 調査に向う前の事前準備

- ・事前に訪問することを大きめのカードで連絡する。
- ・資料を捨てられない工夫として、封筒に入れて名前を記入する。

2 対応の仕方

- ・玄関を開けていただくまでは、民生委員と名のらず区の依頼とする。
- ・訪問の趣旨説明や質問は、丁寧に解りやすくする。

3 観察のポイント

- ・ご本人の服装や玄関や部屋のゴミや臭いなどを何気なく観察する。
- ・留守の場合は、電気メーターを見て近所への声掛けをする。

4 困った事例とその対処法

- ・訪問しても出てきてくれない場合は、大きな字で手紙を書く。
- ・訪問拒否や調査拒否の場合は、無理せずに役所に任せる。

5 調査で得られた情報の活かし方

- ・継続した見守りや声掛けをする。
 - ・行政へのパイプ役として関係部署に連絡をする。
- 他区の委員の方との情報交換は、たいへん有意義でした。たとえば、ある区では見守りキーホルダー登録というシステムがあり緊急時の支援に活用していました。



（常東地区 齋藤祐子 記）

4/18 “^{あだち}葦立^{きずな}コール絆” 社協60周年コンサート



平成26年7月18日、待ちに待った足立区民生・児童委員協議会のコーラス部が約40名の部員をもって発足いたしました。他の合唱団

に所属している方や経験者は数人のみでほとんどが初めての方です。でも、足立区合唱連盟理事長で二期会の会員でもある田口芳子先生のご指導を受けていますので、早い上達が期待(?)できます。現在、不定期ではありますが、練習はもちろんのこと話し合い(部会・役員会)も行っています。その中で名称や会則を決めました。また、会費を集め、毎月二回の練習日を

設けて活動しております。

コーラス部のお披露目は、平成27年4月18日に行われました「社協設立60周年記念式典」のオープニングです。揃いの衣装を着て「五色桜」の1番と6番、「さっちゃん」の3曲を歌いました。皆、緊張しましたが、終わったという安堵感で一杯です。歌う機会を与えていただきました社会福祉協議会の皆様、ありがとうございました。これを機に、少しずつ他の曲の練習も入れ、自信を持って歌うことができるように努力していく所存です。

今後とも皆様のご協力、ご声援をよろしくお願い申し上げます。

（17地区 野間一夫 記）



子育て応援団

児童養護施設「クリスマス・ヴィレッジ」を訪問して



昨年12月4日、西新井にある児童養護施設クリスマス・ヴィレッジを訪問し、児童福祉に関する現状を把握して理解を深めました。定員78名に対し76名が入所しており、従前は身寄りのない子、親の経済的困難から入所する子がほとんどでしたが、近年は親の養育を適切に受けられない子どもの入所が増加しているそうです。施設は子どもたちにとって家となり、職員は親の代わりとして一年365日寝起きを共にしながら生活していました。安心安全な環境を提供することによって心の傷を癒すこと、生活を立て直すための日常の生活支援はもとより、学習支援・親子関係修復調整などに取り組んでいます。

芝山施設長の次の説明は特に印象的でした。「子どもたちは18歳で卒園し自立生活を始めますが、社会生活

で困難に直面することも多く、施設に連絡してきます。その時も職員は親身になって相談に応じています。時には自宅に訪問することもあります。」

我々主任児童委員は出来る限りの支援をしていきたいと思います。

(主任児童委員長 小宮謙治 記)



桜花小5年 中村果凜 作「ドアを開けたら別世界」

町会自治会「地域を訪ねて」シリーズ1

中央本町若松町会

中央本町若松町会は、五反野駅から北に四家交差点、西に線路沿い300m弱各辺の、大まか四角形の地域で、駅前通り商店地域とその西の住宅街との800戸程です。春の総会、夏の盆踊り、秋のお祭り、年末パ



トロールが大きな行事で、役員・地区当番を中心に一般会員の協力で速やか且つ賑やかに開催されます。特に盆踊りは2日間行われ、開催中は神社部は元より、

女性部は踊り、青少年部は出店、子供会は放送、老人部(若寿会)は踊りと、皆で手分けして盛り上げます。

他に、各部毎に沢山の行事が行われます。青年部は、日帰りスキー(写真)を毎年行っています。昨年までは新潟県六日町スキー場でしたがバス料金や消費税引き上げのため、群馬県玉原スキー場に変更しました。

親子で、友達同士で幅広いメンバーで往復の車中も和気あいあいと言いたい所ですが、往路は年々早まる出発が朝5時30分、帰路は疲労困憊で、いつも爆睡です。

(6地区 田中礼子 記)

足立区要保護児童対策地域協議会 地区連絡会議

毎年11月には児童虐待防止月間が全国的に展開されます。平成16年栃木県小山市で発生した3歳、4歳の兄弟殺人事件をきっかけとして、二度と不幸な事件を起こさないとの願いからオレンジリボン運動が誕生しました。

足立区では全民生・児童委員が年間を通してオレンジリボンバッジを着用することによって、継続的な取り組みになっています。「こども支援センターげんき」主催による各種キャンペーンの一つとして合同別に連絡協議会が開催されています。児童虐待の現況を民生・児童委員、主任児童委員、教育関係者、福祉施設関係者などで事例を題材に話し合いが行われました。私が参加した第五合同は昨年11月7日に開催、民生・児童委員、主任児童委員の活動を理解してもらえ、契機になり、大変有意義な連絡会になりました。

特に経験年数の少ない教育現場の教員は民生・児童委員の活動を全く知らないことに改めて驚くことになりました。今後PRを継続的に進める必要性を強く感じました。家庭生活を除けば一番長い時間を子どもと共にする教員からの情報提供は、児童福祉には必要不可欠になると思います。

主任児童委員会では私たちの活動を教員に理解してもらうためのリーフレットを作成し、全教員・教育関係者に配布しました。

(主任児童委員長 小宮謙治 記)



足立区は活動記録提出率100%継続中です



民生・児童委員 PR 活動 佐野地区



民生・児童委員、主任児童委員の役割や活動が、地域の方々にまだまだ知られていない、理解されていないと感じられることが多々あり、何か方法は無いだろうかと考えました。そこで、地区内の小学校2校のPTA主催で行われている「まつり・祭」に参加をお願いしたところ、快く受け入れていただきました。



昨年10月18日(土)、19日(日)両日共に、天候に恵まれ、多くの方が訪れる会場で、学区担当の委員さん達が半纏を着用して、「こんにちは、民生・児童委員です」のチラシなどを配布しながらPR活動を行いました。また、テント前では「手づくりのどんぐりこま」の配布や昔遊びコーナーで児童の皆さんと一緒に楽しみました。各学年、クラスのブースも訪問し、学校・PTA・地域の方々や来場者の方々とも交流を図ることが出来ました。これからも、この取組みを続けて行くことが出来たらと思っております。

(佐野地区会長 加藤眞吾 記)

上沼田中学校 全国優勝に輝く

「第2回 全国中学校リズムダンスふれあいコンクール」において
自由曲部門優勝(文部科学大臣賞)受賞

「『夢中』は最高のエネルギー！」本校の1年生が卒業したのち上沼田中学校は統廃合される。自ら挨拶ができない。表現力が乏しいと言われてきた1年生。しかし、ダンス授業の中で『夢中』になる場面があった。「ダンスで彼らは成長できる！」出場を決心した後、彼らは「上沼田中学校最後の卒業生としてPRIDEを持とう」という目標をあらゆる場面で具現化していった。挨拶を自ら行い、練習では協力し合い、そして、先生や保護者に感謝を表すことが出来るようになった。さらに、成長はコンクール当日も止まることがなかった。ステージに立つまでの準備、ステージで踊る姿。私は生徒の踊りを見て涙を流したのは初めてだった。私も指導者として成長させてもらった。文部科学大臣賞は夢中になって成長した姿も評

価してもらったのだらうと思いたい。『夢中』になるすばらしさを知った1年生。卒業するまでどんな成長をするのだろうか。今後の彼らの成長が楽しみである。(※学年は受賞当時)

(足立区立上沼田中学校 岡本和隆 教諭 記)



足立区立上沼田中学校

夏期補習 休み忘れて 特訓だ
理解するまで みっちり修業

三年 和田佳一郎

高校に 見学に行った 夏休み
とても広くて 楽しみになる

三年 野村 恵美

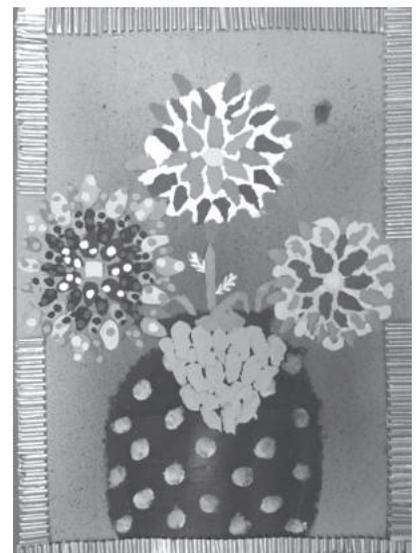
夏祭り 懐かしき友と 再会し
互いの変化に 気づき驚く

三年 千葉 慧祐

朝顔に 水やる祖母に はげまされ
足早に行く 夏期講習

三年 阿出川 恵理

中学生短歌コーナー



青井小3年 小林翼 作「花火みたいな花」



中田特別顧問叙勲祝賀会



昨秋、瑞寶雙光章を受章した中田貢弘特別顧問を祝う会が1月27日東京會館で開催されました。そのご活躍の幅広さを物語るように、民生・児童委員、教育関係、消防関係等、多士

済々の424名がお祝いにかけつけました。

宮崎連合会長の発起人代表挨拶に続く、近藤やよい足立区長、福田豊行東京都民生児童委員連合会会長、大江秀敏東京消防庁消防総監他たくさんのご来賓のご祝辞は、氏のお人柄のわかる温かなものでした。なかでも微

笑ましかったのが、二人のお孫さんの花束贈呈、手作りの金メダルをかけられ、すっかりおじいちゃんの顔になっていました。

中田特別顧問の謝辞は「11月13日、天皇陛下に拝謁した日は、私の71回目の誕生日でした。ここまでの年月を振り返ると二重の感激です。それもこれも、今日ここにお集まりいただいた皆様を始め、多くの方々に支えられてのこと、ただただ感謝致しております。そして、これからも社会福祉の増進に努めていく所存です」と頼もしいお言葉でした。

祝福と笑顔あふれる素晴らしい宴でした。

(9地区 秋本雅信 記)

ぶらり足立 伊興小学校 遺跡見学会

2月14日(土)、伊興小学校改築に伴う発掘調査見学会が、同校用地で開催されました。会場には地域の住民をはじめ、歴史に関心を持つ多数の区民が集まり、現地解説員の説明を聞きました。

見学資料によると、伊興遺跡は元々土地の標高が高く、古墳時代(7世紀)から中世(16世紀)にかけて立地していたとされています。足立区で最初に人が住み着いたのは、毛長川流域の伊興地区といわれていますが、その後、南側の若宮八幡遺跡地区に移ってきたことがわかりました。

今回の発掘では、完全な形の7世紀の須恵器の「はそう」が出土して注目を集めていました。この他に平

安時代の墨書土器、室町時代の青磁皿片、江戸時代のカラケ、生活用具などが発掘されています。



また、実相院(伊興観音)や伊興小学校を囲む大きな溝の一部も発見されて、これが広大な寺院の周囲を囲んでいた溝の可能性が出てきました。

足立区では貴重な遺跡で今後の調査結果が期待されます。(花畑地区 鈴木恒雄 記)

白寿を超えても現役!



旧16地区で民生・児童委員として活躍され、30年程前に退任された大先輩小倉甚三郎さんは御年101歳。恒例の瀏江・竹の塚OB会の日帰りバス旅行にも元気に参加されました。若々しさの秘訣は現役の幼稚園園長であられること。日々園児を見守り遊び、園を高齢の方々

の憩いの場として開放し一緒にスポーツにも励んでおられるとか。こちらでも現役で地域福祉に貢献されています。お肌の艶も良く、好天に恵まれた当日、昼食席上で長寿祈願の木札を後輩一同より差し上げ、皆でお祝いし喜びを分かち合うことができました。嬉しい限りです。

誇れる大先輩、健康に留意されて、どうぞ今後も益々ご活躍くださいますように。

(瀏江・竹の塚OB会 浅井米子 記)

編集後記

広報委員になって1年半が過ぎ、この間に2度記事を掲載させていただきました。私の本職は工学系で「さくら」に掲載するような文章を書いたことがありません。校正委員の皆様には苦勞を掛けそうです。皆様の協力をいただき頑張っていきたいと思

ます。

最近世界各地で治安状態が悪化しているように思えます。世界中の人々が平和に暮らせることを願っています。

(東綾瀬地区 山崎秀夫 記)

○小学生掲載絵画および中学生詩歌、俳句の依頼は、第一合同から第七合同の小・中学校に順番にお願いしております。

○皆様の原稿を募集いたします(原稿は未発表のものに限ります)。次号発行予定日 11月1日
原稿に関しては紙面の都合がございます。事前に地区広報委員にご相談下さい。

広報委員会

委員長 秋本雅信
副委員長 数下奈穂美
書記 鶴田晴久
会計 金子みどり
編集 小島千恵子
レイアウト 木内信雄
校正 江川明美
編集委員 齋藤祐子、山崎秀夫、田中礼子、渡邊春子、櫻井春子、森原潤子、福原穂子、坂井潤子、丸山まさ子、鈴木恒雄
校正委員 秋葉千秋、山本滝子、志賀口博人、久保幸子、福岡佳須子、戸張光子、西野いちよ、高橋和枝